

いろいろな連立方程式 (1)

かっこをふくむ連立方程式

式の中にかっこをふくむ連立方程式は、かっこをはずし、式を整理してから解くとよい。

分数や小数をふくむ連立方程式

式の中に分数や小数をふくむ連立方程式は、次の方法で、**分数や小数をすべて整数**にしてから解くとよい。

分数がある連立方程式 → 分母の公倍数を両辺にかけ、係数をすべて整数にしてから解く

小数がある連立方程式 → 10, 100, … などを両辺にかけ、係数をすべて整数にしてから解く

【1】 次の連立方程式を解きなさい。

$$(1) \begin{cases} 2(x+y) - 3y = 6 \\ x + y = 6 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 3x - 5(x - y) = -22 \\ 2x + y = 10 \end{cases}$$

答え _____

答え _____

$$(3) \begin{cases} \frac{3}{8}x + \frac{y}{4} = 2 \\ x - y = -3 \end{cases}$$

$$(4) \begin{cases} 0.5x + 0.6y = 1.3 \\ x + 3y = 8 \end{cases}$$

答え _____

答え _____